

英 語 科 学 習 指 導 案

令和3年2月5日（金） 第6学年3組（プレイルーム） 指導者 関口 桜子
Smith Gavin John

【単 元】 This is my BEST memory.～英語版文集「FUTABA」をつくろう～

考察	知識及び技能	思考力、判断力、表現力等	学びに向かう力、人間性等
育成を目指す資質能力	- 思い出の学校行事とその理由を伝え合う際に用いる英語の音声や文字、英語表現、文構造、言語の働きについての知識 - 思い出の学校行事とその理由を伝え合ったり、音声で慣れ親しんだ英語表現を書き写したりする基礎的な技能	思い出の学校行事とその理由に応じて、英語表現の選択・組合せをし、英語を用いて分かりやすく伝える力	英語を用いて相手に伝えるように工夫しながら、思い出の学校行事とその理由を伝え合おうとする態度
児童の実態	- これまでに"I went to ～."や"It was ～."等の英語表現を用いて夏休みの思い出や感想を伝え合い、過去を表す英語表現が存在することや文構造について理解してきている。 - 過去を表す英語表現の中には、現在を表す英語表現と発音が似ている語があり、混同してしまう児童もいる。	"I went to ～." "It was ～."等の英語表現の選択・組合せをし、夏休みの思い出や感想の紹介ができるようになってきている。 - 複数の英語表現の選択・組合せをし、夏休みの思い出や感想を詳細に表現することが難しい児童もいる。	- 英語を用いて相手に伝えるように工夫しながら、夏休みの思い出や感想の紹介をしようとしてきている。 - 友達の夏休みの思い出の紹介に反応（質問・返答・評価）ができなかったり、相手の反応を基に自らの英語表現や伝え方のよさや改善点に気付けなかったりする児童もいる。
価値	- A L Tのために、英語版文集「FUTABA」をつくる場面を設定することは、毎年作成している文集を題材とするため、児童にとって身近であり、英語を用いて小学校の思い出について伝え合ったり、書き写したりすることに対する関心を高められる。 - 英語版文集「FUTABA」をつくることは、各学年の思い出の学校行事とその理由を扱うことになるため、"We went to ～." "It was ～."等の過去を表す英語表現に繰り返し触れられる。	思い出の学校行事とその理由について紹介をすることは、学校行事やその行事での自らの体験や感想を伝えることになるため、英語表現の選択・組合せをし、伝えられる。	- 英語版文集「FUTABA」をつくることは、思い出の学校行事とその理由を伝え合う必要感を高められる。 - 思い出の学校行事とその理由を伝え合うことは、一人一人異なる理由を伝えることになるため、相手の紹介に対して反応できる。
見方・考え方	英語やその背景にある文化を捉え、A L Tに思い出の学校行事とその理由を伝えるというコミュニケーションを図る目的と、思い出の学校行事とその理由を伝え合い、英語版文集「FUTABA」をつくるという場面、状況及び相手の反応に応じて、英語表現や伝え方の選択・組合せをすること。		
今後の学習	中I「A Trip to Finland」において、"I enjoyed ～." "We visited ～."等の過去の英語表現を用いて体験したことを伝え合う学習へと発展していく。		

指導と評価の計画

目標	小学校の思い出について伝え合い，英語版文集「F U T A B A」をつくることを通して，英語表現を用いて過去にあった出来事や感想を表現できる。			
評価 規準	(①知 ・ 技) 思い出の学校行事とその理由を尋ねたり答えたりする英語表現を理解している。 思い出の学校行事とその理由の紹介をする英語表現を英語の語順や音声で発音したり，正確に書き写したりしている。 (②思・判・表) 英語表現の選択・組合せをし，思い出の学校行事とその理由を伝えたり，書き写したりしている。 (③主体的態度) 相手に伝わるように工夫しながら，思い出の学校行事とその理由を尋ねたり答えたりしようとしている。			
言語 材料	What's your best memory? My best memory is (Mt.Akagi orienteering/ <i>Ikaho</i> orienteering/making rice cakes/ <i>Dondo yaki</i> /Mt. <i>Myogi</i> orienteering/the lake trip/the beach trip/school trip/sports festival/relay race/lunch time/breaktime).I/We (went to/ate/saw/enjoyed)～. It is/was (good/great/cool/delicious). I want to(visit/eat/buy)～ again. ※太字は新出言語材料			
過程	時間	学習活動	指導上の留意点	評価項目＜評価方法（観点）＞ ※太字は「記録に残す評価」
つか む	I	○小学校の思い出について伝え合ったり，A L Tのモデルを見聞きしたりし，必要な英語表現について話し合い，単元の課題をつかむ。 単元の課題 A L Tや友達に思い出の学校行事とその理由を伝え，英語版文集「F U T A B A」をつくらう	○小学校の思い出について伝え合う際に必要な英語表現に気付けるように，A L Tの思い出の学校行事とその理由について伝えるモデルを演示する。	◇小学校の思い出について伝え合う際に必要な英語表現を発言したり記述したりしている。 ＜発言・Tryシート①＞
	追究する	I ○学校行事を表す英語表現を用いた「クレイジーマンキーゲーム」をし，小学校の思い出を伝え合う。 I ○不規則変化の過去形の英語表現を用いて，小学校の思い出とその理由についての英語表現や伝え方を改善する。 I ○規則変化の過去形の英語表現を用いた「メモリーチェンゲーム」をし，小学校の思い出とその理由について伝え合う。 I ○ 感想を表す英語表現を加えて，小学校の思い出とその理由についての英語表現や伝え方を改善する。（本時）	○学校行事を表す英語表現の英語の語順や音声を確かめられるように，学校行事を表す英語表現を繰り返し発音するゲームで使用するシートとさいころを用意する。 ○不規則変化の過去形の英語表現を用いて伝え合う際のよさや改善点に気付けるように，タブレットを用いて友達からの評価を確認する機会を設定する。 ○規則変化の過去形の英語表現を確認できるように，A L Tのモデル動画を用意する。 ○思い出の学校行事とその理由を伝え合う際のよさや改善点に気付けるように，タブレットを用いて友達からの評価を確認する機会を設定する。	◇学校行事を表す英語表現を英語の語順や音声で発音している。 ＜行動①＞ ◇不規則変化の過去形の英語表現の選択・組合せをし，小学校の思い出を伝えている。 ＜行動②＞ ◇ 過去形の英語表現を英語の音声で発音している。 ＜行動①＞ ◇英語表現の選択・組合せをし，伝え方を工夫して小学校の思い出とその理由を伝えている。 ＜行動②＞
まと める	I	○小学校の思い出とその理由について伝え合う。	○友達に分かりやすく伝えるために必要な伝え方の改善点をもてるように，前時に収集した友達からの評価を確認する機会を設定する。	◇ 伝え方を改善し，小学校の思い出とその理由を聞き取りやすい声の大きさや速さ，アイコンタクトやジェスチャーを意識して伝えている。 ＜行動③＞
	I	○小学校の思い出とその理由を書き写し，英語版文集「F U T A B A」をつくる。	○小学校の思い出とその理由を伝える英語表現の選択・組合せをし，書き写せるように，既習の英語表現の見本や四線入りの学習プリントを用意する。	◇ 英語表現の選択・組合せをし，小学校の思い出とその理由を書き写している。 ＜学習プリント②＞

本時の学習（５／７時間目）

ね ら い タブレットを用いて収集した友達からの評価を基に改善点を意識しながら、相手を替えて繰り返し思い出の学校行事とその理由について紹介
 をすることを通して、相手に分かりやすく英語表現や伝え方を工夫して伝えることができる。

評価項目 英語表現の選択・組合せをし、伝え方を工夫して小学校の思い出とその理由を伝えている。

<行動②>

学習活動・子どもの意識	指導上の留意点
1 本時のめあてをつかむ。 ・「きな粉餅を作った」は"I made <i>kinako</i> rice cake."と言うのだったな。 ・今日は思い出の学校行事の説明に「おいしかった。」などの感想を加え、友達からのコメントから改善点を見付けて、分かりやすく紹介ができるようになりたいな。 （課題意識）	○思い出の学校行事とその理由を伝えるために必要な英語表現を想起できるように、A L Tに続いて既習の英語表現を発音するよう促す。 ○タブレットを用いて収集した友達の評価から自らの英語表現や伝え方についての改善点を見付け、改善点を意識しながら思い出の学校行事とその理由の紹介をするという本時の見通しをもてるように、J T Eが思い出の学校行事の紹介をし、A L Tが評価するモデルを演示し、話の内容を問いかける。
めあて：友達に分かりやすく、思い出の学校行事とその理由の紹介をしよう	
2 思い出の学校行事とその理由を紹介する。 ・「餅を食べた」の英語での言い方を忘れてしまったから、ロイロノートの動画で確認してみよう。"I ate rice cake."と言うのだったな。 ・私は、餅つき大会について紹介をしたいな。理由を伝える時には、"I ate a big rice cake. I like it.It was delicious."と伝えるぞ。 ・"What flavor do you like?"と質問されたな。次は、"I like <i>kinako</i> rice cake."と伝えてみよう。その後に"Nice eye contact!"と友達が言ってくれたよ。アイコンタクトは意識できているな。 ・タブレットでの友達からのコメントを見ると、声の大きさが小さかったみたいだな。次は、もう少し大きな声で紹介をしたいな。 ・友達が"I like it, too!Great presentation!"と言ってくれたよ。友達に聞こえる声で紹介をできるようになってきたよ。 ・友達は、思い出の学校行事とその理由の紹介をするときに、ジェスチャーをしながら紹介をしていて分かりやすかったよ。私も、お餅をついているジェスチャーをしながら、"It was heavy,but it was fun."と紹介をしてみよう。 ・友達からのコメントを参考にして声の大きさを意識して伝えたら、"Good volume!"と言ってもらえたよ。 （課題を解決した意識）	○感想を表す英語表現の英語の音声を確認できるように、英語表現を大型モニターを用いて提示し、A L Tの後に続いて発音するよう促す。 ○思い出の学校行事とその理由の紹介で伝える内容を把握できるように、学校行事や行事でしたこと、感想を伝える英語表現を問いかける。 ○必要に応じて、英語の音声や英語表現を確認できるように、ロイロノートの資料箱にあるA L Tのモデル動画を見るよう促す。 ○思い出の学校行事とその理由の紹介をする際の英語表現や伝え方のよさや改善点に気付けるように、グループ内で紹介をし、口頭でよさや改善点を伝え、質問をした後、タブレットで評価を送るよう促す。 ○思い出の学校行事とその理由の紹介をする際の伝え方の改善点を明確にもてるように、送られてきた評価を基に、学級全体で伝え合う際に意識したい点を問いかける。 ○伝え方を工夫しながら相手に分かりやすく話すことのよさに気付けるように、聞き手と目を合わせ、聞き取りやすい声の大きさや速さ等、伝え方を意識している児童同士のモデルを紹介し、話の内容や伝え方のよさを問いかける。 ○思い出の学校行事とその理由の紹介をすることに自信をもてるように、聞き手と目を合わせ、聞き取りやすい声の大きさや速さ等、伝え方を意識している児童を称賛する。
3 本時の学習の振り返りをする。 ・友達から"Good volume."と言われたり、自分のことについて質問されたりするようになったな。友達からのコメントのグラフを見ても、声の大きさが「聞き取りやすかった。」が多くなっているな。 ・次回は、クラスみんなの前で思い出の学校行事とその理由の紹介をするのだな。今日の授業を生かして、聞き取りやすい声の大きさを紹介ができるようにがんばりたいな。	○思い出の学校行事とその理由の紹介をする際の英語表現や伝え方のよさや改善点に気付けるように、「できるようになったこと」「次回ががんばりたいこと」を観点として成果や改善点をTryシートに記述するよう促す。 ○次時の学習で学級全体の前で思い出の学校行事とその理由の紹介をするという見通しをもてるように、Unit Listを提示し、次時に取り組むことを問いかける。

授業の振り返り

※授業の様子は、本校 HP でも紹介しています。
【教育研究→令和2年度提案・部内授業の様子】

機器	タブレット（1人1台）
使用アプリ	ロイロノート，Google Forms
機能等	モデルの視聴（英語表現の向上） アンケートの収集 結果の閲覧（自覚）

○実際の授業の流れと児童の様子

【導入】 本時の導入において、児童は、既習の思い出の学校行事の紹介をする英語表現をALTの後に続いて発音した。次に、思い出の学校行事と感想を含めた理由について紹介をする演説を見聞きし、「思い出の学校行事とその理由を分かりやすく伝えたい」という思いを抱いた。そして、本時行うこととして、「相手に伝わるように、感想を加えて思い出の学校行事の紹介をする」という課題意識を明確にした。

【展開】 "It was delicious. I want to eat it again."等の感想を表す英語表現を確認し、ALTの後に続いて発音した。次に、思い出の学校行事とその理由の紹介をし、口頭で伝え方のよさや改善点を伝えた後に、より分かりやすい紹介を目指すために、Google Forms を用いて「声の大きさ」や「速さ」「アイコンタクト」の観点ごとの評価を送り合うという、活動の流れを確認した。その後、ペアで伝えたい内容を確認した。その際、英語表現の発音に自信が無く、"hot spring." "Baumkuchen""delisious"と単語をつぶやいていた児童は、ロイロノートの資料箱内の「ALTのモデル動画」を見聞きし、"I went to *Kusatsu* hot spring. I bought a long Baumkuchen. It was delicious."等と、モデル動画の後に続いて既習の英語表現を発音していた。次に、学級全体でペアをつくり、思い出の学校行事とその理由の紹介をした。その際、モデル動画を確認していた児童は、英語表現を用いて修学旅行の思い出と感想を、単語ではなく、文章で伝えていた。これは、自らが表現したい英語表現を動画で確認できたことにより、英語表現を取り込み、小学校の思い出とその理由を伝えられるようになった姿だと考えられる。



<ALTのモデル動画>

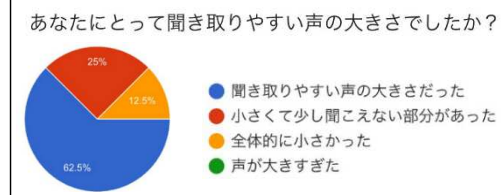
その後、内容に関する質問や伝え方のよさや改善点を口頭で伝えた後、ロイロノートの資料箱内の評価を送るためのGoogle Formsのリンクから評価を送り合った。そして、相手に伝わるように紹介をしている児童のモデルを見聞き

し、伝え方のよさや改善点を学級全体で確認した。続いて、教師がロイロノートの資料箱に入れた、評価を確認するためのリンクから、児童は自らの評価を確認した。教師が、自らの改善点について問いかけた際には、これから意識して伝えたい観点を答えていた。再び学級全体で相手を替えて紹介をしようという思いがなくなり、評価の確認後の表現の改善が見られなかった。

【終末】 児童は、学級全体での紹介後、再び友達からの評価を確認した。その際、初回に確認した評価よりも、意識した観点が改善されたことや、次時の発表に向けての改善点を具体的に振り返りとして記述していた。これは、友達からの評価の結果が変化したことを即時的に確認できたことにより、自らの英語表現や伝え方のよさや改善点を自覚した姿だと考えられる。

○授業改善に向けて

・伝え方の改善点を明らかにし、自らの表現を追究し続けられるように、Google Forms の評価の観点を、観点ごとの程度ではなく、改善点を問う内容にする必要がある。



<評価の確認画面>

少し声が小さかったみたい
なので、ハッキリ分かりやすく
伝えるようになりたいです。

<評価を基に児童が書いた振り返り>